



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台研究教育職員（理論研究部）

1. 助教1名
2. (1) 国立天文台理論研究部
(2) 東京都三鷹市
3. 天文学の理論的研究
4. 共同利用機関の教員として全国の理論研究者との連携を保ちつつ、観測天文学も視野に入れて、理論天文学の研究を推進する研究者を求めます。
(A) 観測天文学と理論天文学をつなぐような研究、先端的シミュレーション研究など研究部が推進する研究を自ら行うだけでなく、わが国の理論天文学の推進に尽力でき、(B) 研究部の運営（総研大天文学専攻における教育を含みます）にも貢献できる方を求めます。シミュレーションを用いた理論研究を行っている場合は、天文シミュレーションプロジェクトに併任することで、共同利用スーパーコンピュータシステムの運用とそれを用いた研究の推進も期待します。
5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期
(2) なし（5年目に助教としての再審査を行い、他の適切な職務に異動させることがあります）
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書（e-mailアドレス含む）、(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要を含む）、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと、主要論文5編

以内に○印を附すこと）、(4) 着任後の研究計画と抱負（職務内容に関する抱負を含む）、(5) 意見を求めることのできる2名の氏名とその連絡先（意見書は1次選考後直接依頼します）

8. 応募は日本時間2017年3月1日（水）から3月31日（金）までの間に行ってください。
9. (1) 下記URLの応募フォームにアクセスし、必要事項の入力と必要書類のアップロードを行ってください。 <https://application.nao.ac.jp/dta2017/>
(2) 国立天文台理論研究部主任 富阪幸治
〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台
e-mail: jokyo_AT_th.nao.ac.jp（_AT_を@で置き換えてください。）
10. 応募投稿が受理されると、自動的に確認メールが送られますが、それが届かない場合は appldta2017_AT_nao.ac.jp へお問い合わせください（_AT_を@で置き換えてください。）。面接を行う場合があります。その際の交通費、宿泊費は応募者の負担とさせていただきます。
11. 給与待遇は年俸制となります（年額の12分の1を月額支給）。選考は国立天文台運営会議で行います。国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しくは <http://open-info.nao.ac.jp/danjokiyodo/>

研究助成

公益財団法人天文学振興財団 平成29年度研究助成等応募

当財団は、天文学の振興に寄与することを目的として、天文学に関連する分野の研究、教育および普及活動への必要な経費を助成いたします。

平成29年2月1日

公益財団法人天文学振興財団 理事長 観山正見

1. 応募種目

[1] 国際研究支援事業

(1) 研究に対する助成

- ・対象：天文学に関する研究に従事する若手研究者（申請者は原則35歳以下とする）
- ・助成：研究経費（設備用品費，消耗品費，その他）1件当たり100万円以内.

(2) 国際交流に対する助成

- ・対象：天文学に関する海外での国際交流活動（1カ月以内）に平成29年6月以降参加する研究者
- ・助成：参加に要する往復航空運賃及び滞在費

(3) 国際研究集会開催および参加に対する助成

①国際研究集会開催に対する助成

- ・対象：平成29年7月以降に国内外において天文学に関する国際研究集会を開催する研究者グループ
- ・助成：1件当たり100万円以内.

②国際研究集会参加に対する助成

- ・対象：平成29年6月以降に海外で開催される天文学に関する国際研究集会に参加，発表する研究者
- ・助成：参加に要する往復航空運賃および滞在費

[2] 普及・啓発支援事業

(1) 普及・啓発活動に対する助成

- ・対象：天文学および関連分野の普及・啓発事業を行う個人，団体
- ・助成：事業経費（設備用品費，消耗品費，その他）1件当たり100万円以内.

(2) 「スター・ウィーク協力イベント」に対する助成

- ・対象：「スター・ウィーク2017」に協力する団体
- ・助成：開催経費等

2. 申込期限：

- ・[1]-(1)・(2)・(3)-②，[2]-(1) は，毎年5月末日，9月末日，翌年1月末日の計3回
- ・[1]-(3)-①は，第1回が5月末日（対象期間が29年7月以降の開催）
- ・第2回が9月末日（対象期間が29年11月以降の開催）
- ・第3回が30年1月末日（対象期間が30年3月以降30年6月末日迄の開催）
- ・[2]-(2) は5月下旬

3. 選考結果：選考委員会で審査の上，採択の可否については，各申込期限の約1カ月後に文書で通知します.

4. 報告：[1]-(1) は，年度末，それ以外の助成は帰国後又は開催後1カ月以内に報告書を提出すること.

5. 申請書：ホームページ上にWordファイルとPDFファイルが掲載されています.

6. 問合せ先：公益財団法人天文学振興財団 事務局
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

Te1: 0422-34-8801

Fax: 0422-34-4053

<http://www.fpastron.jp/>

会務案内

2016年度日本天文学会各賞について

2016年度日本天文学会各賞は，2017年1月8日の代議員総会で次のように決定しましたのでご報告いたします.

◇林忠四郎賞（1氏）

住貴宏（すみ たかひろ）氏：大阪大学大学院・准教授

研究の表題「重力マイクロレンズを用いた系外惑星の研究」

◇欧文研究報告論文賞（2編）

・論文題目：NIR Spectroscopy of Star-Forming Galaxies at $z \sim 1.4$ with Subaru/FMOS: The Mass-Metallicity Relation
著者：Kiyoto Yabe et al.

出版年等：Vol. 64, No. 3, article id 60, 2012 June.

・論文題目：Effect of Magnetic Braking on Circumstellar Disk Formation in a Strongly Magnetized Cloud

著者：Masahiro N. Machida et al.

出版年等：Vol. 63, No. 3, pp. 555-573, 2011 June.

◇研究奨励賞 (2氏)

- ・滝脇知也 (たきわき ともや) 氏: 国立天文台理論研究部・助教
研究の表題: 「大規模3次元シミュレーションに基づく重力崩壊型超新星の爆発機構に関する理論的研究」
- ・秦和弘 (はた かずひろ) 氏: 国立天文台水沢VLBI観測所・助教
研究の表題: 「高分解能VLBIによる巨大ブラックホールジェット生成・収束・加速領域の観測的研究」

◇天体発見賞 (7氏, 16件)

- ・青木昌勝 (あおき まさかつ) 氏1件
超新星2016Cの発見
- ・板垣公一 (いたがき こういち) 氏9件
超新星2016Wの発見, 超新星2016ajfの発見, 超新星2016bkvの発見, 超新星2016eqaの発見, 超新星2016esmの発見, 超新星2016fovの発見, 超新星2016gsdの発見, 新星V5855 Sgrの発見, 超新星AT 2016jagの発見
- ・坪井正紀 (つばい まさき) 氏2件
超新星2016bamの発見, 超新星2016jfuの発見
- ・山本稔 (やまもと みのる) 氏1件
新星V3661 Ophの発見
- ・西村栄男 (にしむら ひでお) 氏1件
新星V1655 Scoの発見
- ・藤川繁久 (ふじかわ しげひさ) 氏1件
新星V1656 Scoの発見
- ・嶋邦博 (しま くにひろ) 氏1件
超新星2016islの発見

◇天体発見功労賞 (2氏1グループ (2氏), 3件)

- ・中村祐二 (なかむら ゆうじ) 氏1件
新星V3661 Ophの独立発見
- ・西山浩一 (にしやま こういち) 氏, 梶島富士夫 (かばしま ふじお) 氏1件
新星V5853 Sgrの独立発見
- ・櫻井幸夫 (さくらい ゆきお) 氏1件
新星PNV J18205200 – 2822100の独立発見

◇天文功労賞

長期的な業績 (1氏, 1件)

- ・藤森賢一 (ふじもり けんいち) 氏
「60年以上の長期にわたる太陽活動の観測」

短期的な業績 (1氏, 1件)

- ・佐藤英貴 (さとう ひでたか) 氏
「彗星型の軌道を動く小惑星の検出とその形状観測」

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教員

1. 2015年10月号 (第108巻第10号)
2. 相川祐理 (筑波大学計算科学研究センター教授)
3. 2017年4月1日

年会開催地立候補の募集

一昨年より、日本天文学会では年会開催地の決定にあたり立候補の募集を行うことになっています。今回、募集する年会は2019年9月秋季年会と2020年3月春季年会の開催地です。皆様、奮ってご応募お願いします。詳しい内容は学会ホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。

なお、開催地は立候補状況を見ながら理事会にて決定する予定です。締め切りは4月初旬を予定しています。

事務所からのお知らせ

【移籍・退会について】

2016年度末をもって移籍・退会希望の方で、まだ学会事務所に連絡していない方は、大至急書類のご提出をお願いいたします。書式は当学会ホームページ「各種手続・書式」からダウンロードできます。

【会費納入について】

◆正・準会員の皆様◆

2017年度（2017年4月～2018年3月）会費の納入期間は、2017年3月、4月の2カ月間です。

正会員：15,000円（2017年度暫定値下げ）

正会員（学生）：10,000円

準会員：8,000円

予稿集予約購読代：4,000円（予約している方）

PASJ紙版送料：2,000円（正会員の送付申請者）

- ・会費の口座自動引き落とし登録のない方には、3月上旬にコンビニエンスストア専用払込票を郵送します。
- ・口座自動引き落とし登録の方は、2017年4月10日に引き落としますので口座残高不足にご注意ください。通帳には引き落とし代行会社の「JCB」という文字が印字されます。
- ・海外在住の方は、上記金額をご確認の上、クレジットカードまたは銀行振込等でご納入ください。
※払込票の控え、またはクレジットカード会社・金融機関の利用明細、引き落としが印字された通帳のコピーをもって本学会の領収書とさせていただきます。控えや明細書は大切に保管してください。

◆団体・賛助会員の皆様◆

4月に請求書をお送りしますので、それ以降にご納入ください。

賛助：30,000円（1口） 団体：10,000円

入会・移籍・退会のお知らせ

2016年12月24日に開催された公益社団法人日本天文学会理事会において、正式に入会・移籍が承認された方、退会が報告された方の人数をお知らせします。

入会 正会員：73名 準会員：12名 賛助会員：1名

移籍 正会員へ移籍：1名

退会 準会員：2名

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）**vol98**（5文字）の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光（編集長）、上野悟、大栗真宗、奥村真一郎、富永望、萩原喜昭、馬場彩、平松正顕、町田正博、諸隈智貴、吉田二美

平成29年2月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円（本体667円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）/ 0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2017年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）